

① 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-152	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英Ⅱ・326	Revised BIG DIPPER English Expression II		

1. 編修の基本方針

本教科書の編修にあたっては、学習者が日常的な話題を通じて人間性や社会性を育むことができ、かつ、基本的な英語の運用能力や、英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容・構成となるように配慮した。

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、英語による基礎的かつ実践的な発信技能を習得させること、またそれによって積極的にコミュニケーションを図り、事実や意見などを多様な観点から考察する姿勢や能力を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用してさらに英語表現の能力を伸ばすことが可能となるように選定した。
3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、主体的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し How to Write a Letter / Punctuation	手紙や E メールで用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号) 英語の句読法について正しい知識を習得させ、標準的な英語における適切な表記を追究する姿勢を養う。(第1号) 相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	前見返しⅠ・Ⅱ 後見返しⅣ・Ⅴ 前見返しⅠ・Ⅱ

はじめに 英語表現を効果的に身に つけるには	英語学習のポイント・勉強する態度などを 点検することで、能力の伸長・創造性の涵 養を図る。(第2号)	6~8 ページ
PART 1 Basic Rules for English Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い 知識を確実に身に付ける。(第1号) モデルとなる文章として、身近な題材を用 いることで、個性を尊重する態度や、豊か な情操、道徳心を培う。(第1号) 自己表現活動を通じて、創造性・自主性を 養う。(第2号) 平等意識や公平の観念を養うため、男女・ 人種などにおいて、偏りが生じないように 配慮した。(第3号) ボランティア活動や職業、生徒会活動など の題材により、社会・集団へ主体的に参画 し、発展に寄与する態度を養う。(第3号) 森林破壊の問題を扱うことで、環境保護の 意識を高める。(第4号) 自国文化を尊重させる。また、国際協力へ の意識を育む。(第5号)	10~88 ページ 10,14,26 ページほか Write a Short Paragraph! (11,13 ページほか) Express Yourself! (20~21 ページほか) 英文・写真・イラスト全般 38,56,80 ページ 82 ページ 28,42,68 ページ
PART 2 Communicative Functions of English Expressions	言語の働き(機能)を念頭におき、様々な 場面で相手の存在を意識して、より効果的 なコミュニケーションを図る力を養う。 (第1号) 発展的な表現活動を行うことにより、自律 性を培う。(第2号) 平等意識や公平の観念を養うため、男女・ 人種などにおいて、偏りが生じないように 配慮した。(第3号) 言語の働きを学習することで、他人に対す る心的な働きかけを意識して、自他の意見 の相違などを尊重しつつ対話を進める態 度を養う。(第4号) 外国語学習の意義を考えさせ、国際社会の 一員である自覚を促す。(第5号)	90~138 ページ Activities (91,93 ページほか) 英文・写真・イラスト全般 Model (90,92 ページほか) Column 3 (124~125 ページ) 114 ページ
PART 3 Advanced Communicative Activities	発展的な言語活動を通じて、自己表現能力 をさらに伸長させ、自主・自律の精神を養 う。(第2号) 社会的なルールについて、対話を通じて理 解を深め、社会の一員としての責任意識を 高める。(第2号) 自国の食文化についての理解を深め、それ を英語で表現し、他国の人々に効果的に伝 えようとする態度を培う。(第5号) 美しい自然や文化財を保有する日本の名 所について紹介し、郷土を慈しむ心を養 う。(第5号)	140~153 ページ 146~147 ページ 140~143 ページ 144~145 ページ
後付 Useful Expressions	英語で表現するための基本的な知識を、反 復練習により定着させる。(第1号)	154~164 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 学習しやすい パート別 / 見開き 2 ページ 構成

1. パート別構成

PART 1 で「英文構成の基本ルール〔文法〕」を、PART 2 で「言語の働き〔機能〕」を習得します。いずれも表現活動に繋げる点を重視した構成となっています。

* 「言語の働き〔機能〕」とは、「勧誘する」「依頼する」などのことばの働きのことで、これを理解することで、自分が伝えたい内容を的確に表現することが可能となります。例えば、Can you play the violin?〔質問〕 / Can you lend me your bike?〔依頼〕のように、同じ“Can you ~?” という疑問文でも「言語の働き」は異なります。

さらに、PART 3 ではプレゼンテーション・ディスカッション・ディベートといった、より高度な言語活動を実践することが可能です。

2. 見開き 2 ページ構成

見開き 2 ページの小ユニットで 1 レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT（簡明な解説・用例）～INTAKE（ドリル・練習問題）～OUTPUT（自己表現活動）の流れをもった、豊富な学習内容を扱っています。

B. 理解しやすい パラグラフ・ライティングなどのコラム

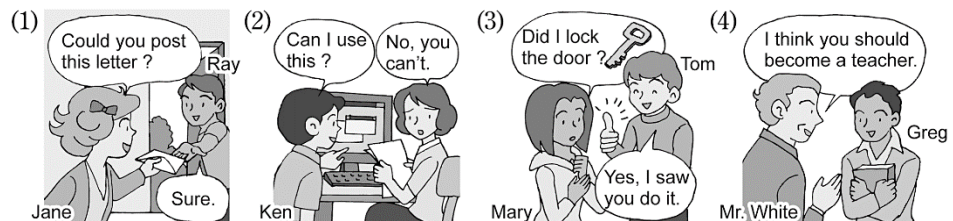
パラグラフ・ライティングや、語彙習得・発音などに関する注意点、サマリー・ライティングなどを、学習者の習熟度に応じて扱えるよう、PART 1,2 のコラムで取り上げています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現形式の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

1. PART 1：英語で正しく表現するための基本的なルールの習得に主眼を置きました。

- a) 左ページ：各課で学習すべきポイントを含むモデル文に、簡単な解説と補充例文を加え、確認のためのドリル（基本問題）を設けました。
- b) 右ページ：学習事項を定着させる練習問題を掲載しました。「コミュニケーションを支えるもの」としての文法の役割を重視し、次のような絵〔状況〕を見て表現する問題や、リスニング問題など、多彩な演習を取り入れています。



- (1) Jane asked _____ her letter.
(2) Ken's mother didn't let _____ her computer.
(3) Tom saw _____ the door.
(4) Mr. White wants _____ a teacher.

〔図などは実際にはカラー印刷となります（以下同）〕

2. **PART 2**：言語の働き（機能）を意識した、より効果的なコミュニケーションを図る力を育成することに重点を置きました。

- a) 左ページ：各課で学習すべき機能表現を含むモデル文・関連表現を示し、基礎的な確認問題により定着を図り、機能表現を応用した簡単な自己表現活動を行います。
- b) 右ページ：機能表現の INTAKE を図る練習問題に続けて、それをさらに活用させるような Activities を設け、自己表現活動を充実させました。Activities では、絵や図表を絡めた問題・リスニング問題など多様な演習が可能です。

① **Look at the pictures and complete the sentences. Use the phrases in brackets.**



- (1) You _____.
- (2) I think you _____.
- (3) You _____ the railroad crossing.

② **Step 1 Listen to the passage and fill in the blanks below.**

We are facing serious environmental problems these days, and there are many things we () do. For example, we () to save energy by using less electricity. In general, we () () practice “the 3R’s.” Do you know what the 3R’s are? They are (), () and (). How well do you practice them?

Step 2 What do you think we should do in order to protect the environment?

Write a paragraph of a few sentences.

3. **PART 3**：PART 1,2 で習得した内容を基に、高度な言語活動に発展させるパートです。プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートといった活動を、基礎からわかりやすく説明しています。見開き 2 ページごとに「解説～実戦練習」の構成をとっており、段階を追って学習することが可能です。

B. 補充演習・コラムなど

- PART 1,2 の概ね本課 4 レッスンごとに, Review Exercises (復習問題) や, Express Yourself! (自己表現活動)・Writing (email などの自由英作文) といった, 学習事項をさらに定着・発展させるページを用意しています。
- コラムとして, PART 1 では文章 (パラグラフ) 作成, エッセイ・ライティング, PART 2 では語彙習得・発音・ポライトネスに関する注意点, サマリー・ライティングなどを, 見開き 2 ページの簡潔な構成で取り上げました。
- 巻頭「はじめに」では, 英語表現力を効果的に身につけるうえでの留意点を改めて確認し, 学習に臨む姿勢を点検できるようになっています。
- 前後の見返しでは How to Write a Letter [手紙・Eメールの書き方], Punctuation [句読法] など, 主にライティング活動に関する注意点を補足しました。

◆教材配当表 <B5判・168ページ・4色>

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめに—英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去/進行形)	2	A Guitar Concert (勧誘する・招待する, 期待する)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
3	My Dear Friend (現在完了/進行形)	4	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
4	Online Shopping (過去完了/進行形/未来完了)	C1	語彙を効果的に身につけるには
C1	パラグラフの「型」を意識しよう	5	After School (義務・必要を述べる)
5	A Dog in a Barbershop (助動詞)	6	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
6	A Favorite Saying (文型)	7	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
7	Japanese Food (受け身)	8	Meeting the Deadline (許可を求める)
8	Visiting Spain (不定詞①)	C2	リスニング, スピーキングにおける音声面での注意点
C2	読みやすい英文を書くように心がけよう	9	Why Do We Study English? (原因・理由を述べる, 目的を述べる)
9	Volunteer Activities (不定詞②)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜びを述べる)
10	A Stage Actor (不定詞③)	11	Returning a Magazine (謝罪する, 謝罪に応じる)
11	I Like Singing (動名詞)	12	You Have My Sympathy (同情する, 励ます)
12	Cycling (分詞)	C3	politeness (ポライトネス) を考えよう
C3	パラグラフの「展開」を工夫しよう(1)	13	What Should I Do? (提案する, 助言する)
13	My New Hiking Boots (比較①)	14	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
14	The Yangtze River (比較②)	15	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
15	My Sister's Job (関係詞①)	16	Cloning (予測・可能性を述べる)
16	In Seattle (関係詞②)	C4	サマリー・ライティング/和製英語
C4	パラグラフの「展開」を工夫しよう(2)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
17	Taking Notes (関係詞③)	1	Making a Manuscript
18	Dreaming of Space (仮定法①)	2	Making Your Presentation More Effective
19	An Android Like You (仮定法②)	3	Being an Active Listener
20	I Left My Smartphone (時制の一致・話法)	4	Having a Discussion
C5	英語でエッセイを書いてみよう	5	Speaking in Order
21	Student Council Election (否定・強調)	6	Thinking Logically and from Different Angles
22	Think Green (無生物主語・名詞構文)	7	Brushing Up Your Thinking Ability
EL	接続詞・代名詞・形容詞・冠詞・前置詞	Useful Expressions/Index	

* 各課 1~2 時間で学習。 * はじめに: 表現力養成上の基礎的な留意事項をまとめた導入ページ。

* C: コラム [パラグラフ・ライティングなど]。 * EL: Extra Lesson [品詞などの学習]。

* 2~4 課ごとに, Review Exercises [復習問題] (PART 1,2), Express Yourself! [表現問題] (PART 1)を掲載。

* 前後見返しでは「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載。

① 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-152	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	英Ⅱ・326	Revised BIG DIPPER English Expression Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバリエーションに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。
- B. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は極力英語を用いた（ただし、英文構成の解説などは、基礎力の定着を図るものとして、適宜日本語を使用した）。また、生徒が実際に言語活動を行いやすいように、具体的な指示・モデルパターンを掲載した。
- C. 事実や意見などについて、多様な観点からの考察や、表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者中心の授業展開が可能となるように構成した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. PART 1 : Basic Rules for English Expressions [文法シラバス]

Lesson 6 A Favorite Saying

① My father entered my room and gave me a book of sayings. He showed me his favorite saying in the book. It was, "There is always light behind the clouds." He explained its meaning to me. I found it very inspiring.

② Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F

① 「～に…を与える」「～が…である」とわかるなど S+V+O+O / S+V+O+C

POINT 「～に…を与える」のように2つの目的語をとる文(→①②)や、「～が…である」とわかるのように目的語の後にそれを説明する語(補語)がくる文(→③)に注意しよう。

EX. ① Saki lent me a book about fishing. サキが私に釣りに関する本を貸してくれた。
② This film made him famous. この映画は、彼を有名にした。この映画が彼を有名にした。

② 「～に入る」、「～について話し合う」など 注意すべき動詞

POINT 動詞の後に、前置詞が必要な場合とそうでない場合があるので注意しよう(→①)。また、次の③、④のように、2つの目的語をとる文にはならない場合があります(→④)。

EX. ① We discussed the problem yesterday. 互に昨日、その問題について議論した。
cf. We talked about the problem yesterday. 彼は昨日にホテルにいった。
② He reached the hotel at night. 彼は夜にそのホテルに到着した。
cf. He got (returned) all the hotel at night. 彼は夜にそのホテルを探索した。
③ I suggested the idea to him. 口頭で、私はそのアイデアを彼に話した。
④ Mr. Hino introduced me to the students.

DRILL () 内から適切なほうを選んでみよう。

(1) Ms. Harris (entered / entered to) the classroom.
(2) We (discussed / discussed about) our future careers.
(3) They (reached / reached to) the station at nine.
(4) I explained (him the situation / the situation to him).

Can-do? S+V+O+O(C)の文型や、動詞の後の前置詞の有無を理解して、文を作成することができる。
② 動詞に続く目的語の種類を把握して、適切な英訳の文構造を用いて表現できる。

EXERCISES

① Look at the pictures and put the words in the right order. [→①]

(1) (me, Sue, made, a pancake). (2) (a, us, told, story, funny, Mr. Lee).
(3) (Mimi, call, we, the rabbit). (4) (the book, found, Dave, difficult).

② Choose the suitable one. [→②]

(1) Our train (left / left in) Tokyo at nine, and (arrived / arrived at) Sendai at ten forty.
(2) I'd like to (apologize / apologize to) you all for my mistakes.
(3) Mr. Sawada (explained / explained to) us that the typhoon was (approaching / approaching to) Kyushu. He showed us the route.
(4) My cousin has (married / married to) a woman who (resembles / resembles to) a well-known singer.

③ Use the words in the list below and complete the sentences.
(1) I () his joke offensive. He should be more thoughtful.
(2) My sister () me her dress. I'm going to wear it today.
(3) We () our plans for the school trip yesterday.
(4) We kept walking for three hours and () the top of the mountain.
(5) Ken () from the university last March.
(6) Masako () a drama contest in Hiroshima last year.
(attended / discussed / found / graduated / lent / reached)

④ Express the following in English.
(1) 新しい留学生が教室に入った。 [→①]
(2) 先生は彼女をみんなに紹介した。 [→②③]
(3) クラスで彼女にささやかなプレゼントをあげた。 [→④]
(4) そのプレゼントをもらって彼女は喜んでた。 [→⑤⑥]
(hint) ③ ささやかなプレゼント a small present

⑤ Write a Short Paragraph! (短文章) p.351
Write a paragraph of a few sentences about your favorite saying.

① 基本例文・POINT <INPUT>

各課で学ぶべきポイントを含んだ英語の文章（モデル文）に、簡潔な解説・補足例文を添えています。モデル文に関しては、リスニング問題で内容を確認できるようにしています。

② DRILL <INTAKE>

各々の文法事項に対して、確認のための基本問題を設け、ポイントの定着を促します。

③ EXERCISES <INTAKE>

大問単位で左ページの各項目に対応した問題演習（項目対応型大問）となっています。単なる文法問題だけではなく、絵や文脈から適切な表現を考えさせる問題を取り入れています。

④ Try! <OUTPUT>

実際のコミュニケーションを想定した完全英作文で、1文を作る能力を養います。

⑤ Write a Short Paragraph! <OUTPUT>

ポイントとなる文法事項を用いて2~3文程度の短い文章（パラグラフ）を書かせる、簡単な自己表現活動の場を設けています。解答例を差し込みページに掲載しています。

B. PART 2 : Communicative Functions of English Expressions [機能シラバス]

Lesson 4 Studying Abroad
① 計画・意図を述べる

Model (dialog)

Meg: I hear you're **planning to go** abroad this summer.
Yuta: Yes, I'm **going to study** English in a foreign country for a month or so.
Meg: Which country **are you thinking of going to**?
Yuta: I haven't made a final decision, but I've **decided to go to** either Australia or Canada.
Meg: I'm sure you'll find either country very nice.

Meg: 今年の夏に海外に行く計画を立てているそうね。
Yuta: ああ、1か月ほど外国に行って英語を習得するつもりだよ。
Meg: どの国に行くことを考えているの？
Yuta: 最終的な決断はしてないけれど、オーストラリアかカナダのいずれかに行くことに決めているんだ。
Meg: きっとどちらの国もとてもいいところだと思うでしょう。

Can-do! ■ 英語で計画・意図を述べることができる。 ■ 休暇の計画を英語で表現できる。
■ 予定 未来表現 ①.12. 不定詞などを表す表現 (be planning to ~, mean to ~ など) を適切に使える。

Practice

① Put the words in the right order.

- Many students (arc, for, my class, applying, in) the homestay program.
- We (arc, a photo exhibition, going, hold, to) downtown.
- (rearranging, Tetsuya, is, of, thinking) his room this weekend.
- Kenny's (is, family, move, planning, to) to Vancouver.
- Beth (some advice, meant, give, him, to), but he didn't understand what she was saying.
- The (decided, introduce, company, to, has) a new product.

② Express the following in English.

- A: 次の休暇の計画を立てたんだって?
B: タイとシンガポールに旅行する計画を立てているよ。
- A: どうやってその競技場に行くつもりなの?
B: まだ決めていないけど、自転車で行くかと考えているよ。

[Hint] (1) B. タイ Thailand シンガポール Singapore
(2) A. 競技場 a stadium

② **[Key Expressions]** (Plans and Intentions)

- I'm **leaving for** Beijing tonight.
- We're **going to attend** the meeting.
- I'm **thinking of studying** art in college.
- Yui is **planning to take** a night train.
- I **meant to buy** eggs, but I forgot.
- Sana **intends to be** a novelist.
- I've **decided to take** the exam.

[Note] ⑤の mean はらるの intend よりも意味が深く、くだけた表現。

Activities

① Look at the pictures and make sentences using the [Key Expressions] on p. 96.

- Rika and Miki _____
- Mr. Parker _____
- Jane _____, but if it rains, _____

③ **Check Your Understanding**

- We () () some shopping around the station. (～する予定だ)
- I'm () () finish my paper tonight. (～するつもりだ)
- My brother is () () changing his job. (～することを考えている)
- Ted is () () go to France for his honeymoon. (～する計画を立てている)
- I () () drop by the library, but I couldn't. (～するつもりだった)
- We () () make a movie for the school festival. (～するつもりだ)
- I've () () knit him a scarf for his birthday. (～することに決めた)

② Step 1 Listen to the dialog and fill in the blanks.

A: I'm going to take a () to Australia this winter.
B: Sounds nice. What do you () to do there?
A: I haven't () the details yet, but I'd () () to visit the Sydney Opera House.
B: Oh, I'm () () that building, too!
It seems to have a truly unique design.

Step 2 Work in pairs. Referring to the dialog above, make a dialog about your plan.

① Model <INPUT>

各課で学習する機能表現を含むモデル文で、dialog・speech・email などさまざまな種類の英文を取り扱っています。また、リスニング問題で内容確認が可能です。

② Key Expressions <INPUT>

モデル文で扱った機能表現に類する表現を、例文を用いて補足しています。

③ Check Your Understanding <INTAKE>

空所補充問題によって、②で扱った表現の理解を確認し、定着を促します。

10 - 7

④ Give Your Own Answer <OUTPUT>

簡単な自己表現活動により、ポイントとなる機能表現を活用させます。

⑤ Practice <INTAKE・OUTPUT>

部分英作文または整序英作文と完全英作文により、さらなる定着と活用を図ります。完全英作文は、PART 1 の Try! と同様に、実際のコミュニケーションを想定したものとなっています。

⑥ Activities <OUTPUT>

各課で学習した表現や話題に関して、応用的な言語活動により、実生活での活用事例につなげていき、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

C. PART 3 : Advanced Communicative Activities [発展的言語活動]

プレゼンテーション [3 課]・ディスカッション [2 課]・ディベート [2 課] に関し、見開き 2 ページごとに「解説～Let's Practice (実戦練習)」の構成をとっています。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できます。

Let's Practice!

Work in groups. Make a presentation about a place you would like to introduce to the group. The other members of the group should take notes and ask questions about your presentation.

D. 補充演習・コラムなど：概ね本課 4 レッスンごとに、以下のコーナーを設けています。

1. Review Exercises [PART 1]

文法事項の確認と、一層の定着を促すための問題演習のページです。各回約 40 問の復習問題によって、ポイントの確認とより一層の定着を図ることができます。

Review Exercises ①

Lessons 1-4

① Choose the suitable one. [→L.②]

- (1) Where is John? — He (reads / is reading) a paper in the living room.
- (2) While we (practiced / were practicing) judo, we heard loud thunder.
- (3) I (went / was going) to the barber's and had my hair cut.
- (4) The battery in our clock (runs / is running) out. We should change it.
- (5) I (slept / was sleeping) well last night. I feel good today.
- (6) My uncle lives in Hokkaido and (keeps / is keeping) cows on his farm.
- (7) My aunt (speaks / is speaking) four languages: Japanese, English, German, and French.
- (8) I (usually cycle / am usually cycling) to school, but it was raining heavily this morning, so I (took / was taking) a bus.

② Complete the sentences by filling in the blanks. [→L.②]

- (1) 明日ケンが君の家に来たら、電話をください。わかりました。
If Ken () to your house tomorrow, please call me. — OK, I ().
- (2) 私たちは週末に京都を訪れます。写真をたくさん撮るつもりです。
We are () Kyoto this weekend. We are () () () many photos there.
- (3) キムの誕生日に何をあげますか。 ないしよです。
What () you () Kim for her birthday? — It's a secret.
- (4) 風が吹き始めた。今夜は寒くなりそうだ。
The wind has started to blow. It's () () be cold tonight.
- (5) サンタクロースが来るころには、君は寝ているよ。
You () () () when Santa Claus ().

③ Complete the sentences with the present perfect or present perfect progressive. Use the words in brackets. [→L.②]

- (1) I () not () a paper about the experiment yet. [write]
- (2) I () just () home from brass band practice. [come]
- (3) His novels () () me since he made his debut in 2010. [interest]
- (4) () you ever () the tournament? [enter]
— No, but I will this year.

- (5) My sister () () () at a tax office since last year. [work]
- (6) Satoru () () () piano lessons for ten years. [take]
- (7) Sorry I'm late. () you () () long? [wait]
— No, I've just arrived.

④ Complete the sentences with the past perfect (progressive) or future perfect. Use the words in brackets. [→L.②]

- (1) Jim () never () by airplane until he entered college. [travel]
- (2) Eri knew Paris well because she () () there several times. [be]
- (3) The divers discovered a ship that () () many years before. [sink]
- (4) I () () my car for months, so it was dirty. [not, wash]
- (5) Andy () () () TV before his friend called him. [watch]
- (6) By tomorrow Mai () () () from Tokyo. [return]
- (7) Tatsuya () () () the basics of French cooking when he graduates from the cooking school. [master]

⑤ Complete the sentences. [総合問題]

- (1) おばは毎週水曜夜に自宅でヨガ(yoga)を教えている。
My aunt _____ every Wednesday evening.
- (2) ミサの誕生日パーティーの準備をしているときに、彼女が到着した。
Misa arrived when we _____.
- (3) 日本にはどれくらい滞在の予定ですか。
How long _____?
- (4) 学校が終わったらすぐに、そのお店に行きましょう。
Let's go to the shop as soon as _____.
- (5) 私たちは 2 年間トライアスロンのトレーニングをしてきた。
We _____ for the triathlon _____.
- (6) ユキはこれまでに何度も英語でスピーチをしたことがある。
Yuki _____ many times before.
- (7) ブライアンは財布をどこでなくしたかわからなかった。
Brian didn't know where he _____.
- (8) 日が沈む前には、私たちはこの仕事をやり終えているだろう。
We _____ before the sun goes down.

2. Express Yourself! [PART 1]

各課で学習したポイントを用いて、自己表現活動を行います。活動しやすいように、解答例を挙げる、段階的な質問を設けるなどしています。

② Lesson 2 A Trip to Sapporo

POINT : will, be going to ~

- Suppose you will have free time during a school trip or a package tour. Make a plan for how you will use this time. (修学旅行やパッケージツアーで自由時間があるとして、その時間をどのように使うか計画を立ててみよう。)



Ex.) During the free time on our school trip to Okinawa, I am going to Chatan with some of my friends. I am going to do some shopping and eat Okinawan food at the huge shopping mall. Also, if it is sunny, we will swim at the beach there. I hope it will be a good experience.

3. Review Exercises [PART 2]

機能表現を復習・定着させるための問題演習（約 20 問）と、email や手紙などを題材に、まとまった分量の文章を書かせる練習を行います。Writing（下例）では活動しやすいように、モデルとなる文章やヒントなどを提示しています。

② 近況を伝える[→L.10 Friendship Festival]

- ▶ Write an email to John, a former exchange student, about the event you participated in. (元交換留学生のジョンに自分が参加した行事についてEメールを書いてみよう。)

To:	John
Subject:	Visit to a home (Miho)

Dear John, * 以下の3点を含めて書いてみよう。

- ① 吹奏楽部で先週の土曜日に近くの老人ホーム(a home for the elderly)を訪問した。
- ② ホームの皆さんはとても喜んでくれて、また来てほしいと言われた。
- ③ お年寄りと交流して(interact)楽しかった。

Miho

4. Column [PART 1,2] : 解説と、確認・練習のための問題（下例）を掲載しています。

Let's write more!

左ページの*で書いた文章について、より詳細な具体例を追加して、長いパラグラフを作ってみよう。

Ex.) The weather is generally nice and warm.

→ The weather is generally nice and warm. We can enjoy sports and other types of recreation throughout the year.



◆上記によって、本課の学習からさらに表現能力を高めるように工夫されています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
見返し How to Write a Letter / Punctuation	内容 (1) イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。	前見返し I・II 後見返し IV・V	—

はじめに 英語表現を効果的に身につけるには	内容の取扱い (3) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	6～8 ページ	1
PART 1 Basic Rules for English Expressions	内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 (2) イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。 内容の取扱い 「英語表現 I」の3と同様に取り扱うものとする。	内容 (1) ア EXERCISES (11 ページ, [1], 13 ページ, [2] ほか) イ Write a Short Paragraph! (11, 13 ページほか) Express Yourself! (20～21 ページほか) Column (22～23 ページほか) (2) イ Column (64～65 ページほか) 内容の取扱い 本書全般 (以下同)	71
PART 2 Communicative Functions of English Expressions	内容 (1) ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 (2) ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。	内容 (1) ア Activities (91, 93 ページほか) イ Writing (99, 111 ページほか) (2) ア Activities (91, 93 ページほか) Column (112～113 ページ)	43
PART 3 Advanced Communicative Activities	内容 (1) ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 (2) ウ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用すること。 エ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。	内容 (1) ウ 140～145 ページほか エ 150～153 ページ (2) ウ 142～143 ページほか エ 146～147 ページほか	20
後付 Useful Expressions	内容の取扱い 「英語表現 I」の3と同様に取り扱うものとする。	154～164 ページ	5
		計	140

※配当時間は、正課・コラム等各 1～2 時間として計算 (考査・発表等含む)。